

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●新人騎手3名が相次いでJRA初勝利をあげる

3月13日(土)の2回中京1日・第6レースではヴァルキュリアが1着となり、同馬に騎乗した松本大輝騎手(栗東・森秀行厩舎)は、JRA初勝利(11戦目)をあげました。その直後、1回阪神9日・第6レースではバスラットレオンが1着となり、同馬に騎乗した古川奈穂騎手(栗東・矢作芳人厩舎)がJRA初勝利(12戦目)をマーク。さらに翌14日(日)の2回中京2日・第2レースではアクイールが1着となり、同馬に騎乗した永島まなみ騎手(栗東・高橋康之厩舎)もJRA初勝利(12戦目)をあげました。

●鈴木慎太郎調教師と田中克典調教師がJRA初勝利をあげる

3月14日(日)の2回中京2日・第3レースではカンタペリーマッハが1着となり、同馬を管理する鈴木慎太郎調教師(美浦)は、JRA初勝利(延べ6頭目)をあげました。さらに第7レースではロッシュロープが1着となり、同馬を管理する田中克典調教師(栗東)もJRA初勝利(延べ3頭目)をあげました。

●柴田善臣騎手がJRA通算2300勝を達成

3月14日(日)の2回中山6日・第7レースではユキノファラオが1着となり、同馬に騎乗した柴田善臣騎手(美浦・フリー)は、史上6人目、現役では4人目となるJRA通算2300勝(2万1401戦目)を達成しました。

●森一馬騎手が障害重賞全場制覇を達成

3月13日(土)の1回阪神9日・第8レースとして行われた阪神スプリングジャンプ(J・GⅡ)ではメイショウダッサイが1着となり、同馬に騎乗した森一馬騎手(栗東・松永昌博厩舎)は、障害重賞全場制覇(現在障害重賞が実施されている東京、中山、京都、阪神、新潟、小倉のすべてで重賞勝利)を達成しました。これは新潟と小倉で障害重賞が行われるようになった1999年以降では、高田潤騎手に次ぐ2人目の記録となります。

●WIN5史上最高払戻金更新

3月14日(日)のWIN5は、対象となった5レースで4、4、10、8、3番人気勝利し、払戻金は5億5444万6060円(発売金額7億9206万5800円/的中1票)となりました。これは今年1月11日(祝・月)の4億8178万3190円を更新するWIN5史上最高払戻金となります。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●ダイオライト記念(船橋)でダノンファラオが3度目の重賞制覇

ダイオライト記念(JpnⅡ、3月17日、船橋、2400m)は、3番手を進んだ2番人気のダノンファラオ(川田将雅騎手、牡4歳、父アメリカンファラオ)がゴール前で差し切って優勝。エルデュークラージュが2着に入り、逃げた3番人気の昨年の覇者アナザートゥルースは3着、1番人気に推されたマスターフェンサーは手応えが悪く、差のある4着に終わっています。

●テイエムサウスダンが黒船賞(高知)を8馬身差で圧勝

黒船賞(JpnⅢ、3月16日、高知、1400m)は、2番手から4コーナー前で先頭に立った2番人気のテイエムサウスダン(岩田康誠騎手、牡4歳、父サウスヴィグラス)が後続を8馬身引き離して圧勝。1番人気のスリーグランドが2着に入り、先手を取ったグリムは4着、3番人気のサクセスエナジーは5着、ノボバカラは9着でした。

●兵庫ユースC(姫路)は人気のサラコナン【各地の主要3歳重賞】

兵庫ユースC(3月4日、姫路、1400m)は、3番手を追走した北海道から兵庫への移籍馬サラコナン(牡、父シビルウォー)がゴール前で差し切り勝ちを収め、単勝1.8倍の支持に応えています。
※最新の開催情報は各主催者のホームページ等でご確認ください。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●オールスターマイル〜マガトウが制す

ファン投票で出走馬を決めるオールスターマイル(2歳上、芝1600m)が3月13日にオーストラリアのムーニーバレー競馬場で行われました。勝ったのはH.ボウマン騎手を背に中国でレースを進めたマガトウ(騾6歳、父ヘンリーザナヴィゲーター、K.リーズ厩舎)。G1アンダーウッドSの勝ち馬ロシアンキャメロットとの競り合いを半馬身差で制しました。マガトウは元イギリス調教馬。今シーズン前半は芝1900mと芝2300mのG3を連勝し、芝2400mのG1メトロポリタンで2着に入るなど中長距離路線を歩んでいましたが、1600m戦としては世界最高賞金(総賞金500万豪ドル=約3億9000万円/1豪ドル78円で換算)を誇る大一番で最良の結果を得ました。

●G1ニュージーランドS〜メロディベルが新記録を樹立

3月13日にニュージーランドのエラズリー競馬場で行われたG1ニュージーランドS(3歳上、芝2000m)をメロディベル(牝6歳、父コマンズ、J.リチャーズ厩舎)が優勝。1998年から2002年にかけてサンラインがマークしたG1・13勝を上回るG1・14勝目をあげてニュージーランド調教馬によるG1最多勝記録を塗り替えました。